

第506回 放送番組審議会

1. 日 時 2015年3月17日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 12名

出席委員 11名

委員長	池田 克典
副委員長	吉江 信博
委員	鈴木 正之
委員	平 英一
委員	國分 正人
委員	千葉 隆史
委員	嶋 誠治
委員	小川口 寛
委員	三浦 茂樹
委員	恒川 かおり
委員	山口 博弥

欠席委員 1名

委員	五日市知香
----	-------

社側出席者

檜崎 憲二	(代表取締役社長)
山口 英二	(常務取締役)
関 英祐	(報道制作局専任局長)
三浦 裕紀	(報道制作局報道部・宮古報道)

事務局

遠藤 隆	(編成局長)
丸谷 尚史	(編成局編成部副部長)

#### 4. 議 題

##### 1. ニュースプラス1 特集「ボランティアのお母さん」

1月24日(土) 10:00-10:30 放送

##### 2. その他

#### 5. 意 見

##### 委員側意見

- 非常におもしろかった。八幡さんを取り上げる、その段階で番組が成功するのではないかというほどのキャラクターの方だった。これだけのことを「できることから始めよう」と考えてできる人、そういない。この方を取り上げたこと、記事で言うとネタそのものの面白さが、まず番組が面白かった理由だと思う。
- ご主人が寝たきりで、ご近所を助けられなかったというお母さんも深い悲しみを背負っている。私自身がそういうことをやることで生きていけるのかなと疑問を感じるような、映像の力感じた。また近所の方への悲しそうな表情を見て八幡さんの優しさを感じた。
- 釜石などは仮設住宅をボランティアに解放している。しかし大槌は解放されていない。旅館に泊まるとお金がかかる。学生はやりたくても経済的負担強いられボランティアしにくい。無料で泊まれるような環境整った被災地にしか行けないと、よく聞く。ボランティアの大学生が困っているという背景が分かればよかった。
- 八幡さんはすごい人。借金背負いボランティアを支援することは普通できない。とんでもない人。この人がボランティアのお世話をして、人とふれあってボランティアや地元の人に元気与えているが、八幡さんも元気もらっていると感じた。本当に借金 1000 万円でするものか疑問に思い調べた。そうしたら国際協力の NGO から協力受け、NGO がお米とか買って、神戸の人から冷蔵庫をもらったりしている。そういう感謝の気持ちが、こういう活動になっていると思った。支援を受けるだけでなく返すことも大事かと感じた。
- 番組を見て単純な疑問がおこった。2000 人もボランティアを泊めて、食べさせお金はどうなるのか。見た人がもつ疑問にある程度こたえる必要があるのではと感じた。全部自費でできるのかが最後に残った。

##### 局側

- お母さんの魅力が全ての番組。1年くらいつきあい、取材すればするほどお母さんの魅力にはまり、ボランティアを気遣う気持ち。そういう点を殺さずに魅力をストレートに伝えたいと思い作った。ご主人が寝たきり生活で、介護のシーンは撮影できていない。私は頼めなかった。頼めば頼めたかもしれなかったがどうしても踏み込めず、取材できなかった。

3月番組審議会（今回）のテレビ放送予定

- ◆ 3月24日（火）11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」